

二九二七番

うらぶれて 離れにし袖を またまかば 過ぎに
し恋い 乱れ来むかも

二九二八番

おのがじし 人死にすらし 妹に恋ひ 日に異に
瘦せぬ 人に知らえず

二九二九番

夕々に 我が立ち待つに けだしくも 君来まさ
ずは 苦しかるべし

二九三〇番

生ける代に 恋といふものを 相見ねば 恋の中
にも 我そ苦しき